

熊本県奥球磨地域

重点プロジェクト(*)名称

大径材活用及び国産無垢 JAS 生産体制の構築

現状と課題

大径材について、資源の成熟に伴い出材の機会が増えつつある。しかし、大径材は需要が薄く、値が付かない状況にあるなど、大径材の有効活用が課題となっている。

取組概要

地域の林業・木材産業事業者と川下の関係者により、大径材を有効活用する技術を確立し、大径材製品の増産に向けた施設整備を実施。(モルダー、グレーディングマシン、含水率計、自動製品選別装置、帯鋸盤、丸鋸盤、選別機、チップパー、剥皮施設、ギャングリッパー、集塵装置、輸送装置、丸太熱処理施設)



図1(積み上げられた大径材)

取組の成果・効果

令和元年度において主に中目材を製材する製材施設を整備。令和2年度から本格稼働を開始した。令和3年10月には JAS 機械等級区分を取得し、また、奥球磨の木の良さを PR することにより、販売促進に繋がっている。



図2(丸太熱処理施設)

取組が進んだ要因

事業を推進する団体として、川上から川下までの関係者で協議会を設立し、ハード事業及びソフト事業に取り組めたこと。林業事業者の積極的な機械導入及び施設整備。

これから取組む地域へのアドバイス

ハード事業及びソフト事業に取り組むためには、川上から川下の事業者の連携が不可欠であり、その取りまとめとなるキーマンの役割が重要となることから、その人材確保を当初の段階で確保することが望ましい。



図3(協議会会議風景)

【担当】

熊本県湯前町役場農林振興課農林整備係

椎葉 祐介

【連絡先】

メール: shiiba-yu@town.yunomae.lg.jp

電話: 0966-43-4111